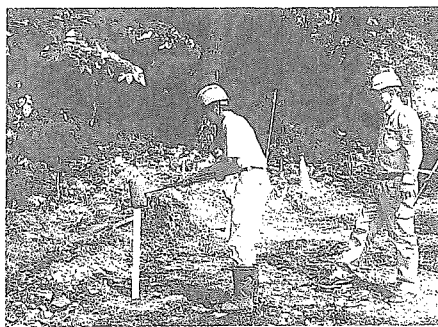


測量等現場の仕事体験

平田建設 帯工生受入



戸館さん（左）が建設業について学んだ

工事で実際に行う作業や、タフレットですぎ取り物の体積を測る作業を体験させた。

戸館さんは「実際に現場で行われている3次元技術にとっても驚いた。現場で働いている方たちからいろいろ話を聞くことができ、ますますこの業界に進みたいという気持ちが強くなった」と感想を述べた。

平岡亮介土木部長は「最新の測量機器の使用は若い人の方が飲み込みが早く、活躍できる場面が増えていく。安心してこの業界に進んでほしい」などと話した。

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は3日から3日間、帯広工業高校のインターシップに協力した。道路改良や農業の基盤整備などの現場、同社土質試験室の見学を実施。光波測量機等を活用して現場の仕事を経験させるなど、建設業の魅力を伝えた。

同社では毎年インターシップに協力。今回は3日から3日間、帯広工業高2年生の戸館然さんを受け入れた。

初日は、建設業界と会社

の概要について説明したあと、同社施工で帯広開建発注の「芽室川西地区西美栄幹線用水路美栄西六線工区外一連工事」と、帯広建管発注の「首更宝来本通6丁目1急傾斜地崩壊対策工事」の2現場、同社帯広支店の土質試験室を見学させた。

2、3日目は同社が施工する帯広開建発注の「帯広広尾自動車道大樹町歴舟北改良工事」「帯広広尾自動車道大樹町振別北改良工事」の2現場で実習を行った。光波測量機を使用して